

目標達成計画

作成日：平成 30 年 1 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 風水害(大雨・洪水)に関して併設で年2回開催実施している。ホーム独自でも運営推進会議に訓練出来ただけ地元の消防団との連携の必要性も取り組んでいきたい。	職員全員が火災訓練・手順等の意識付けを行う。 地元の消防団との連携の必要性・加湿器はこまめに水の補給・点検の再確認をしていく。	新任研修や職員ミーティング等で職員の教育も行っていく。 運営推進会議への参加協力を求めていく。 加湿器使用の居室は特に空焚きを起こさないよう職員で徹底していく。	平成30年度 4/1～6ヶ月
2	36	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重しプライバシーを損なわない言葉かけ対応に努める。	利用者への呼びかたやスピーチロックにならないよう呼びかけを行う。 居室に入る際は在室の有無に関わらずノックして行う。	職員同士も声掛けに気づければお互い見直しをしていく。 居室の在室の有無に関わらず掃除等への入室時ノックを徹底していく。	平成30年度 4/1～12ヶ月
3	43	排泄の自立支援 排泄の失敗が多く成られ尿パットや紙パンツ等の使用にて数名の排泄用品を配置している。見えにくい工夫が必要である。	個人のトイレじゃないため、トイレ内の棚に排泄用品にきちんとカバーできるよう配慮する。	外部の方々も使用される為、トイレ使用の際に排泄用品への保管には見えにくい籠を用いて工夫を行う。	平成30年度 4/1～2ヶ月
4	52	居心地の良い共有空間作り 共有の空間(玄関・廊下・居間・台所・食堂・浴室・トイレ)広い空間であり季節に応じて花や装飾品とも居心地良く過ごせるような工夫に努める。	経年と共に物品も増え、掲示物等のは破損もあり。季節に合わせて定期的な確認や見直しを検討していく。	季節に合った、掲示物や装飾品等の掲示作成へ担当者を検討していく。 利用者の掲示作品も確認出来る様配慮していく。	平成30年度 4/1～12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。